

# 第1回 オープン実践研究会



## テーマ： 今こそ「全員参加」の授業づくりを

近年、幾多の教育課題を前に、「授業のユニバーサルデザイン化」や「主体的・対話的で深い学び」が求められ、今後さらに「協働的な学び」「個別最適な学び」へとシフトしていこうとしています。

これまで受け身の学び手をつくってきってしまった「教え込み」からの脱却を目指していることは理解できます。我々に求められているのは、予測困難な時代にも対応できる能動的な学び手の育成だからです。しかし、本質的な改善策はまだ見えていません。

「授業のユニバーサルデザイン化」として、焦点化や共有化、視覚化などをすることや、「協働的な学び」として意見交換やディスカッションをすることはよいことですが、より具体的な授業づくりについてははっきりしていません。「個別最適な学び」については、ICTの活用が中心となって進む流れになってきています。はたして、これで能動的な学び手を育成することができるのでしょうか。

そんな今だからこそ「全員参加」の授業づくりを提案します。一斉学習の中で、解きたくなる追求課題に学級全員で立ち向かっていく。必然的に自分の考えをもち、他者と関わり、教材の内容を深く学んでいきます。私たちは、この授業方法を課題追求型授業と呼んでいます。能動的な学び手を育成する本質的な授業です。日本の教育が大きく変化しようとしている令和の今だからこそ、「全員参加」の授業づくりと一緒に考えてみませんか。ご参加、お待ちしております。



### 研究会日時・実施方法

令和7年2月9日(日) 13:00~16:00 (ZOOMによるオンライン研究会)



### 参加定員

50名 (参加ご希望の方は下のQRコードから事前申し込みをお願いします)



### 研究会の流れ

- (1) 提案 コーディネーター . . . . . 佐藤栄太郎 八王子市立榑原小学校  
「全員参加」授業づくりについて . . . 松山 豊 須賀川市立長沼東小学校  
実践報告 . . . . . 吉澤良紀 あきる野市立増戸小学校  
市川妙子 瑞穂町立瑞穂第五小学校  
小笠原菜月 八王子市立榑原小学校
- (2) グループ討論 テーマ  
「全員参加」の授業づくりへの第一歩  
～ 一人一人に「当事者意識」をつくるには? ～
- (3) 全体会 コーディネーター . . . . . 中山博夫 目白大学教授  
◇意見交換  
◇総括 . . . . . 多田孝志 目白大学名誉教授・金沢学院大学教授



### 【参加申し込みフォーム】

右のQRコードまたは、以下のURL(こちらをクリック)から事前申し込みをお願いします →  
[こちらをクリック](#)

